

# 自由に泳いでいたらサカナになっちゃいました！ 魚から広がった人の輪に大感謝です

突き抜けた明るさと異常なまでの魚の知識で大人気のさかなクン。魚員の生熟だけでなく、その食べ方にも精通し、生きる魚類図鑑として大活躍だ。さかなクンは、どうしてさかなクンになったのか？  
「二魚一会」の気合でさかなクンを訪ねた。

東京海洋大学客員准教授  
お魚らいふ・コーディネーター

## さかなクン

●さかなクン 東京都生まれ。東京海洋大学客員准教授。魚に関する豊富な知識と経験を生かし、テレビや新聞、雑誌などで幅広く活躍。著書に『おしえて！ さかなクン』全3巻、『さかなのなみだ』など多数。

## 魚好きの入り口はタコ怪獣

——トレードマークのハコフグの帽子。それで、すぐにさかなクンってわかりますね。

ハイ！ このハコフグちゃん帽のおかげさまで日本中の皆さまに「さかなクーン！」って声をかけていただきハッピーです。

もともとはお魚のギョ案内役としてテレビの動物番組に出演させて

いただいたときに、何か見た目で覚えていただけるものはないか？ ということになりました。そこで大きなハコフグの絵を描いて、職人さんに帽子にしてくださいました。

いまではこのカジジュアルタイプと夏用のメッシュタイプ、大学で講義する際の学帽、水中用、クロマキ

(合成) 撮影用の黒いタイプ、ギョー(合) 計、ギョ(五) 種類あります！  
——なかなか凝っていますね。可愛いらしい帽子ですが、なんでハコフグなんですか？

小学生のころ、家族で福島県の名浜に旅行しました。そのときにお魚屋さんの水槽にマダイやブリと一緒に、小さくてものすっごく可愛いハコフグが泳いでいたんです！

ハコフグが自分よりも体の大きなブリにぶつかってもフラフラとけなげに泳いでいる姿に「カワイ〜！」と感激しました。自分はおっちょこち

よいで失敗することも多いんですが、ハコフグが一生懸命に泳いでいる姿を見ていると勇気がわいてくるんですね。そういう思い出があって、いまでもいつも一緒にいるくらいハコ

フグは大好きなお魚の一つなんです。——それがきっかけで魚好きになっ

たんですか。  
はい！ 小学二年生ぐらいのころ、友達が描いた絵を見てギョギョっとビックリしました。八本足の生き物が真っ黒い墨をブワーツと吹いてウルトラマンと闘っている絵だったんです。ノートから飛び出てきそう

迫力いっぱいその絵を見て「このすごい生き物は何だ?!」と衝撃を受けました。

——ふつうウルトラマンへ興味がないのに、タコだったんですね。

ハイ！ そこからはもう毎日タコ、タコ。もうタコに夢中でギョざいました。学校の図書館で図鑑のタコを見て憧れ、帰り道にはお魚屋さんでタコを眺め、母に頼んで町のお魚屋さんでイイダコやゆでダコを買ってもらっては、何時間も見つめて描きました。一カ月間ほど、毎日タコが食卓に並びました。

——魚専門のイラストレーターとしても有名ですが、当時からその片鱗はあったんですね。それにしても一カ月間、毎日タコ料理ですか。

タコに夢中の毎日を応援してくれました。特に母は、お魚に夢中にな



さかなクン出演情報 3月18日(日) 18:00~「ニッポン美味しい笑顔紀行 東日本ギョギョうま編」(BS-TBS)、3月24日(土) 19:30~「ごきげん歌謡笑劇団」(NHK 総合)。詳しい情報はさかなクン公式ホームページまで <http://www.sakanakun.com/>